

研究課題 非アルコール性脂肪性肝炎患者における長期予後の検討

実施期間

2024年12月31日まで

主たる研究機関

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

研究機関・研究者

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科 部長 内藤 雅文

目的

非アルコール性脂肪性肝疾患(nonalcoholic fatty liver disease: NAFLD)は、組織診断あるいは画像診断で脂肪肝を認め、アルコール性肝障害など他の肝疾患を除外した病態です。NAFLDのうち、非アルコール性脂肪肝炎(nonalcoholic steatohepatitis: NASH)は、肝組織において特徴的な所見を呈する進行性の肝疾患で、肝硬変から肝細胞癌へ進展することもあります。さらに、わが国の肝細胞癌発症の背景肝疾患については、近年では非B非C肝炎の割合が20%と増加傾向であり、そのなかにはNASHも含まれています。しかしながら、NASHにおいては、正確な有病率や、どのような方で病気が進行するか、などについては正確に把握されていないのが現状で、NASHの患者さんにおける長期の経過について、今後明らかにする必要があります。そこで今回、NASHと診断された患者さんの治療経過や発癌・生存状況などを検討することにより、肝線維化進展度、肝発癌率、肝線維化進展および肝発癌に関与する因子を明らかにすることを目的とした研究を行います。

対象

2009年3月31日までに大阪大学消化器内科および共同研究機関で肝生検にてNASHと診断された方

研究方法

大阪大学消化器内科および共同研究機関において、電子カルテから上記対象者の情報を収集・解析します。情報収集項目:年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、肝癌治療歴、併用薬、血液検査、画像所見、予後 等

個人情報の保護

プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際には、患者さん個人が特定されることはありません。ご自身のデータを使ってほしくないとお考えの場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科 内藤 雅文

住所:564-8567 吹田市岸部新町 5-7 電話番号:06-6387-3311